

# 村上がずしげは巨大津波から命を守るため全力を尽くします

死者は最悪8万4千人、人口の半分を超える。

数多くの高層避難施設をつくる以外ない

巨大津波の市の被害想定に言葉を失います。被害の少ない時間帯で早期避難ができて死者は2万1千人。これまでのやり方ではとても市民の命は守れません。

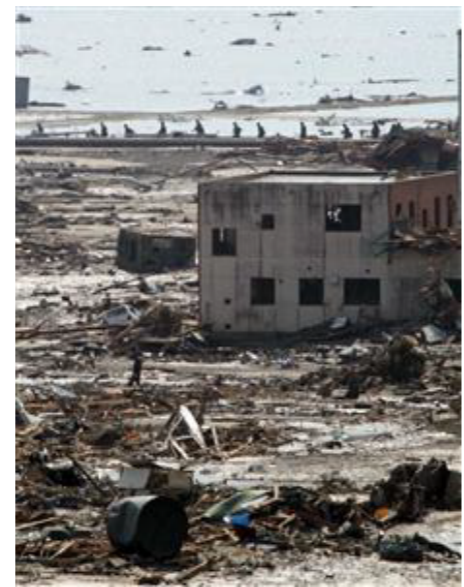
鉄道高架では多くの命は救えない

鉄道高架で津波に備えると言いますが、車が渋滞すれば被害は拡大、逃げ切れる人がいるとしても、助かる命はほんのひと握りです。

唯一の対策は、一つでも多くの高層の避難施設を確保することです。

■可能な限り多くの高層建築物を津波避難施設に指定させます。

■高層の建物が少ないところに津波避難タワーなど、新たな避難施設を整備させます。



東日本大震災の津波被害 (岩手県陸前高田市)

## 郷里は「津波で壊滅」と報じられた

市議会の中で、災害対策を繰り返し提言してきたのが村上がずしげ議員です。

村上議員の実家が東日本大震災の大津波で全壊、津波にのまれる様子を避難先の屋上から呆然と眺めることしかできなかった父。目の見えない母が、近所や市役所、自衛隊の方に助けられてやっと逃げのびたこと。家族同様に育った従兄が津波で亡くなり、遺体が見つかったが震災から1か月もたったあとのことだったこと。

こうした体験が、「あの悲劇を釧路で繰り返してはならない」という決意を支えています。

## 災害対策を実際に前へ進めてきました

震災直後の市議会で、「津波が予想される住宅街には津波避難施設を兼ねた公住の建設を」と提案、新富士などに避難所機能を持った市営住宅がつけられました。

音別では、市営住宅を避難施設として活用する再検討が始まっています。

洪水対策でも、阿寒川の洪水ハザードマップの作成、舌辛川の土砂・流木撤去など、確かな実績をつくってきました。



22. 8. 14

## 村上がずしげ通信

発行 日本共産党市議団 Tel.23-5212

これが津波避難タワーです



(高知県香南市)

私の提案です。ご意見をお寄せください。

- ◎高知県香南市は人口3・3万人で津波避難タワーは22基。釧路市で20基のタワーを整備すると市の負担は約17億円になります。一方、鉄道高架は168億円(市負担56億円)、費用の差は歴然としています。
- ◎消防大楽毛支署の建て替えも、避難施設を兼ねた高層建築として整備させます。
- ◎大楽毛小を避難施設に指定・改修させます。
- ◎今後の市営住宅、市民文化会館など公共施設の建て替えでは、常に災害対策を念頭に、避難所として利用できるようにするなど、「災害に強いまち」をつくりたい。
- ◎阿寒や高台など、津波の心配ない地域に住宅を新築して移転する際の支援制度をつくりたい。